



教頭 谷鋪 秀治

日頃より、代中PTA会員の皆様には本校の教育活動にご理解とご協力を頂きまして心より感謝申し上げます。

さて、私が本校PTA執行部の活動のお手伝いをさせて頂いて5年目となりました。この経験を通して改めて、学校とPTAとの関係の大切さと意義とを実感することができました。

特に役員の方々には、活動の段階で発生する物理的な負荷や、ご自身のお仕事やご家庭の事情との両立などの難題に直面する中で、我が子の通う学校の環境の整備や教育活動のサポート、親としての子育てに関する情報交換、地域と共にある学校づくりのために、地区代議員の方々と共に、献身的な取組には、いつも頭の下がる思いでした。それらの活動は間違えなく、毎日の生徒たちが笑顔で学校生活を送れることができている要因となっていると、私は思っております。

毎年度末に、次期役員の選出の活動に入る際、役員の方々に、1年の活動を振り返って頂いているのですが、どの方もいい経験ができてよかった。という感想を述べられております。その1年間子どもたちの笑顔のために懸命に取り組まれてきた充実感と達成感、また自己有用感が、その言葉を言わせる根拠となっていることも、また確かなことです。

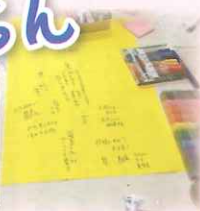
社会の急速で急激な変化に伴い、子どもたちを取り巻く環境もPTAの状況も大きく変化してきています。「9歳の子どもたちが将来つく職業の65%は今存在しない職種のものである。」「9歳の子どもたちの寿命は106歳になり、人生観も変わっていく。」「この20～30年後には702種類の職業が無くなる。」「2045年には人工知能が人知を越え、将来を予測できなくなる技術的特異点に達する」といった論説が世界規模で報告され、ここ数年言われてきたグローバルリズムから世界はポピュリズム・ナショナリズムへと転換してきています。

この激動する情勢のなか、学校教育においても、これからの社会に求められる資質と能力の育成は喫緊の課題ですが、これは学校の力だけで達成・完成させられるものではなく、家庭・地域の教育力を活かした「地域と共にあるチーム学校」による教育体制をもつて、未来を切り開く子どもたちの育成を図って行かなければならないことを、日々実感しています。その観点で、学校と家庭・地域社会を結ぶ懸け橋的存在であるPTAへの期待度と必要性はますます高まっています。

今後とも、是非、子どもたちの未来の為の学校づくりに、PTAとして積極的にご参画頂きますよう、お願いいたします。

ぞっくばらん

7月22日(金)
教養委員会



トイレ掃除での カレーふるまい

11月3日(祝) 母親委員会



環境整備作業

8月21日(日)
事業委員会



沢山の方のご協力ありがとうございました!とても楽しく有意義な活動となりました。この場をお借りしお礼申し上げます。

やってみんけ? みんなで楽しく! PTA活動!!

「PTA役員なんて大変だし、自分がそんな立場に立てるはずもないし、私なんか出来るようなものでもないから」。絶対に無理……。このような思いを心にひめている方は少なくないのではないだろうか。実は私もその中の一人でした。そんなイメージを「少しでも崩すことは出来ないだろうか」。役員という立場に立ったことの無い私が立つことで……。私の中のこんな思いが母親委員長を務めるきっかけとなりました。

中学校の母親委員長、市P母親委員長を務める中で思っていた通りにそれ以上に大変でした。委員長が中心となり委員活動の実施、委員長が代表となり市Pや県Pの委員活動への参加などと初めてのことはかりで緊張の嵐でした。しかし、そんな中でも役員メンバーの方々や先生方に地域の方々と沢山の人達に支え助けて頂きました。人のあたたかさを心から感じました。人とかかわりを苦手としていた私にとっては大きな大きな成長となりました。

役員という立場に立たせて頂き感じたことがあります。PTA組織の中でも活動的な積極的な親御さんといれば、うまく輪に入れない消極的な親御さんとの他にも人それぞれにさまざまな親御さんがおいてるかと思います。どんな親御さんでも皆、「子を持つ親」です。子育てや教育に対して共感し合ったり、情報交換したりと共存共栄することの出来る、とても心強い輪なのではないかと私は感じています。もし「PTA役員は負担、重荷」と感じてしまっているのがあるのなら、もっととつと保護者全体で保護者一人一人が意識をし、役員を支え盛り上げていく事ができるような、心強い「輪」があれば、負担や重荷はすこしでもやわらぎPTA組織にも今よりも更にあたたかいものとなるのではないのでしょうかと私は思います。子ども達の未来のためにも、私達PTAの未来のためにも……

親としての想い

平成26年度母親委員長
平成27年度市PTA連合会母親委員長

清水 初美

PTA活動への素直な思いとその大切さを綴って頂きました。

「子」と「親」と一緒に過ごす時間

平成25年度役員
平成26年度会長

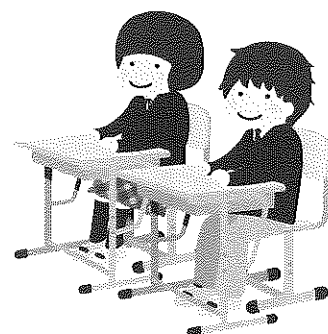
中谷 淳一

自分は「おやじ」「パパ」「おとっさん」と3人の子とも達と一緒に過ごす時間をされます。「おやじ」「パパ」「おとっさん」それぞれ「親父」です。「親」というものは「子」がいて初めて「親」となれると思います。「子」も一人の人として色々な想いや考えを持っています。だから「親」だからといって自分の考えは押しつけたくありません。自分の想いは「子」に希望したいです。その反面「子」の考えや想いも理解するように努力したいです。だから、「PTA」に参加するようになりました。

「PTA」の活動は「子」と一緒に出来る行事があり、自分の「子」を通して、まわりの「子たち」も一緒にそして「先生方」、「学校」という環境の中の「子」を見る事が出来る一つの手段だと思います。家では見せない様子も見つけることが出来ると思います。

「中学生」という時期は、とても心も体も不安定な時期だと思っています。そんな時期だからこそ、考えや想いを大事にしてあげたい、そして、理解してあげたいと思います。「家」の中ではその想いも半減すると思います。「子」たちの様々な様子を見る事が出来る「学校」の中に一緒に出来る時間を作りたいものです。

「PTA」には会長、役員、代議員さん達と先生がいます。でも、その「PTA」にならなくても「子」と一緒に同じ事して同じ想いで何かした「親」がいるのなら、自分と同じ想いの「親」がいるのなら、時間を一緒に作りませんか。ほんの少しでもよいと思います。



変わってゆく事

平成27年度母親委員長

市川 勝美

昨年1年間、母親委員長として活動させて頂きました。PTAとは学校や家庭や地域での子ども達の健全な育成を目的として活動するボランティア組織ですが、子ども達の為ばかりでなく親にとつても地域を知り、人と人との繋がりを大切に出来る「大人のクラブ活動」のような活動だと思っています。役員をして何より良かったのは、巣立ち前の子ども達の成長ぶりを身近に感じられた事です。PTA活動は、日頃家庭では見れない学校生活の子ども達を知る良い機会となりました。決して大変なだけ、面倒なだけの活動ではありません。

ただ私が思う今後のPTAのあり方は「できる人が、できる時に、できる事を」多くの人にPTA活動に関心をもつて頂き、多くの人が少しずつ関われる活動が理想だと思います。参加しやすい形態への転換期が、今来ているのではないのでしょうか。

30年前20年前10年前5年前とは社会情勢は大きく変わり、子どもや家庭、学校や先生方を取り巻く環境も大きく変わっています。特に母親の就業については勤務形態や時間も様々です。その傍らの家事育児介護などで又塾や習い事、高校通学の送迎があつたりと多忙を極める母親は多いようです。そんな状況の中でも「家庭や仕事に支障をきたさない範囲で、出来る事は協力したい、ぜひPTA活動してみたい」と思っている方は多数いらっしゃるのではないのでしょうか。

今後山代中PTA活動がより一層活発になる為には、役員は一部の人が負担が掛かり過ぎないように配慮しお互い協力しあい、これから次に続く人達が気持ちよく楽しく活動しやすい環境を整える事が一番の課題ではないでしょうか。

これまでの山代中学校PTAが、子ども達や学校、地域のために貢献してきた活動に最大の敬意を表し、この活動がかわらず一層代中を盛り上げる為には、少しずつ変わっていく事も必要ではないかと思っています。

PTA活動とは

PTA会長
県PTA副会長
市PTA会長、他

南出 憲康

PTA活動とは、皆さんにとつて何でしょうか？

PTAとは、先生と保護者の方々と話し合いを通じて学校を良くすること、そして子ども達の成長を手助けすることだと思っています。また、お子さんが小学校・中学校に在籍してしましたら、保護者の皆様はPTA会員の資格があります。ただ、私も最初のPTA活動に對しまして一歩を踏み出す事に躊躇した記憶があります。「仕事が忙しい」とか理由をつけてなるべく参加をしないで過ごす向きでした。しかし、ある日の授業参観の時に、教室での授業風景を見せて頂いた時に、先生方が子ども達の成長に熱心にご教授している風景を見まして、私たち親も何らかの形でお手伝いをしなければいけないのではないかと思います。学校での身近な活動であるこの活動に参加するようになりしました。最初は右も左も分からず参加するだけでしたが、年月が経つにつれ大切さも分かってきたと感じています。また、自分自身にとつても有意義な活動ではないかと思っています。保護者の方々と交流を通じて子育てに對していろいろな意見を聞くこともでき、また価値観の違った新たな発見もありました。何よりも子ども達を良くしたいと思う方々と知り合いになれることが良かった事だと思っています。

私が思うPTA活動は、無理をせずに参加できる範囲で活動してもらえれば良いと思っています。また、一歩を踏み出せない保護者の方は勇気を持って一歩を踏み出してみてください。先生の熱心な姿や多くの保護者の方々と「出会い」や「気づき」があると思います。是非、未来を担う子ども達の為にこの活動にご理解を賜りますようお願いいたします。

誰でも楽しく

平成25年度役員
平成26年度総括委員長
平成27年度総括委員長

天田地 広隆

皆さま、こんにちは。昨年度まで娘が在学しており、私もPTAの役員をさせて頂いておりました。その節は色々ご協力を頂き本当にありがとうございました。私事でありますが、3年間PTA役員をさせて頂いたまま、嫁にも「好きね」と言われております。苦労はないと言えは嘘になりますが、やはり一番キツイのが、夜間の役員会、休日の掃除、バザーなど、正直時間の拘束を余儀なくされてしまいます。ただ、無理はしませんでした。仕事などで都合が合わず役員会を欠席させていただいたり、遅れて参加したりと、他の役員の方たちや先生の協力をいただきながら、無事務める事ができました。

なぜ私の様な普通のサラリーマンがそこまでして、役員を引き受けたのかと言いますと、私の持論で、「PTA役員は誰でもできる、誰でもなつて欲しい！」を実証したかったからです。損得で考えたくないのですが、PTA活動に参加するPTA行事に携わることとは、子どもたち、保護者、先生方、地域の皆さんが大きな得に繋がるからです。中学校の校訓で「わたしもみんなも 幸せになる社会をつくる人」があります。PTAが正しくこれではないでしょうか。そして百聞は一見にしかずと言いますが、自分の子どもが学ぶ場所（学校）が今、どのような状況になっているのか、自分の目で確かめる事ができるからです。どんな先生がいらっしゃって、どんな学校の雰囲気なのか、一目瞭然です。だからこそ、もっと多くの方々に学校に関わって、来て、そして見てもらいたいと思います。そのきっかけがPTA役員になつてもらつた事で、その為には、PTA役員が誰にでもなれる事が必要だと思ひ、誰でもなれる事を自ら実証しました。どうぞ、肩肘張らず、そんなに責任感を持たず、気軽にPTA活動役員に協力をしていただければと思っております。こんな私にでもできるPTA役員なんです。この場をお借りして感謝を申しあげます。

PTAをもっと楽しく! 有意義に!!

先月実施しました広報部のアンケートに多数のご協力有難う御座いました。詳細な内容は集計調査中ですので次号以降にて順次掲載させていただきます。

アンケート回収数 348件 (有効回答数のみのカウントです)

母親 282、父親 55、他関係者 4

うちPTA経験者 37.64% 未経験者 60.34%

全体で58%以上の方が何かの形でPTA活動に協力したいと思っている事が分かりました。

とても参考になる沢山の意見を頂いております。順次紹介させて頂きながら、改善できる所を皆で考えながら、これからの活動に役立て行ければと思います。

SHIRO-CHU BAZZAR

10月2日(日) 2016年度バザー収支 +232,203円

今年も盛大に開催されました。沢山の方々にお越し頂き、過去最高の実績をあげる事ができました。ありがとうございました！



バザーのタイトルは毎年 書道家の上田婦佐江先生のご厚意により提供頂いております。

体育祭 9月7日(水)



文化祭 11月9日(水)



連絡
および
相談



TEL(0761)76-0044

〒922-0322 加賀市上野町エ45番地の2

ホームページアドレス

<http://www.kaga.ed.jp/~yamashiro-j/>